

APU-Net ガイド	Ver	対象 OS
APU 情報システム 電子メール利用に関するポリシーと利用ガイド	1.0	全利用者

はじめに

立命館アジア太平洋大学（APU）は、コンピュータ・システムとネットワークの利用に関するポリシーおよびガイドを規定しています。このガイドは、電子メール利用にあたり、全学生と教職員が知っておくべき具体的な事項について記述しています。

このガイドの対象者

このガイドは、すべての APU-Net 利用者を対象としています。

ガイド

目的及び許可された利用

大学の規則に反したり、違法行為や犯罪目的のために、APU-Net を利用して電子メールを送信したり転送してはいけません。

電子メールのプライバシー

APU のメールシステムに保存された電子メールは、ユーザ・ファイルと同様、可能な限りプライベートなものとして扱われます。他人の電子メールを権限なく読もうとする行為は、厳に禁止されます。大学やサーバの管理者は、職務上の必要性がない限り、皆さんのメールを読むことはありません。ただし、あて先不明のメールは、メールサービス全体を管理する意味から、システム管理者に送られるようになっています。このような場合、必要に応じて、内容を確認することがあります。

迷惑メールの禁止

迷惑メールやチェーンメール、わいせつな文書、その他不適切なメッセージを APU のメールシステムを経由して送信することは、禁止されています。

大量配信メールについて（スパムメールについて）

大学から許可を受けている場合を除いて、メールを大量配信することは禁止されています。もし、大量送信メールまたは大容量メールの送信が必要なときは、適正な範囲で情報システム事務室がメーリングリストや電子メールの機能について対応します。詳しくは、情報システム事務室へご相談ください。

大学による電子メール等の着信拒否

APU は、外部のコンピュータからの大量送信メールや営業メール等の着信並びにアクセスを拒否する権利を行使することがあります。大学はこのような電子メールを選別し着信を拒否したり処分することがあります。

ガイド違反

本ガイドに書かれている内容に関して違反があった場合には、調査の期間、ユーザ・アカウントの利用、およびネットワークへのアクセスを予告することなく即時停止することがあります。さらに、

APU-Net ガイド	Ver	対象 OS
APU 情報システム 電子メール利用に関するポリシーと利用ガイド	1.0	全利用者

場合によっては、以後の APU-Net の利用を停止することもあります。また重大な違反については、大学のしかるべき機関において調査、審議の上、処分が決定されます。APU-Net を不正利用すると、犯罪に当たる場合があり、停学、停職、退学または退職、さらに刑事訴追等の厳しい処分を受ける場合があります。

【お問合せ先】

ご質問やご意見などありましたら、情報システム事務室までご連絡下さい。

情報システム事務室

場所：D棟3階 開室時間：月～金 10:00～16:30

メールアドレス：system@apu.ac.jp